

福井大学学術交換協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（10月分）

留学先大学：イタリア ナポリ東洋大学  
(Università degli Studi di Napoli "L'Orientale")

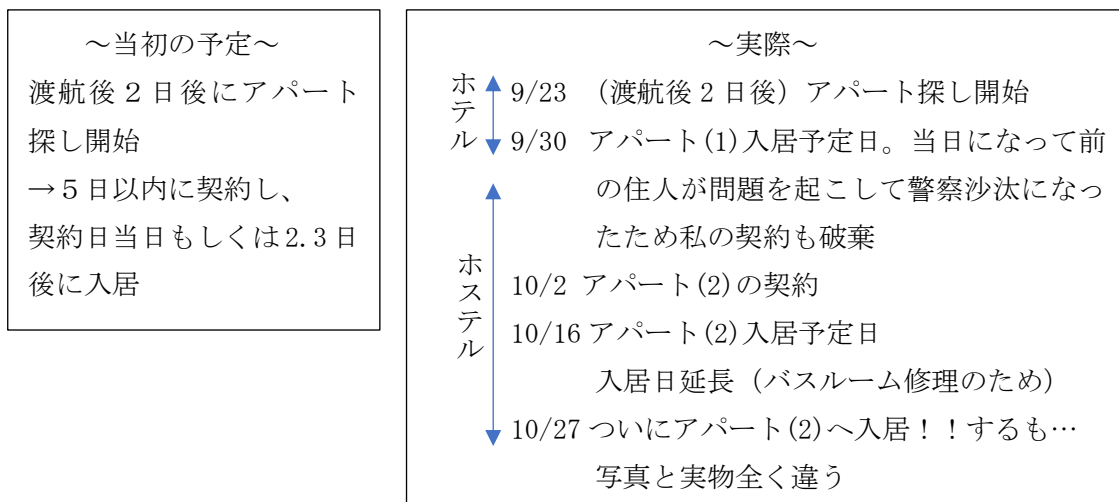
皆さんこんにちは！私は今年の9月末から一学期間、イタリアのナポリ東洋大学へ交換留学しています。これから私がイタリアで感じたこと・学んだなどを紹介していきたいと思います！少しでも参考になれば幸いです。

【アパートについて】

イタリアに来てから一番大変だったのはアパート探しでした。結論から言うと、アパートに入居出来たのは渡航して一か月が過ぎた頃でした。過去にナポリ東洋大学に留学されていた方々は渡航後一週間以内に入居出来ていたようなので私もそのつもりでいたのですが、トラブルの連続でなかなか上手くいかず…

～アパートが決まるまで～

最終的にアパートに入居できるまで色んなことがあったのですが、まとめるとこんな感じです。



～なぜ上手くいかなかったのか～

当初は「ある程度」安くて清潔感があって大学から遠過ぎず、キッチンなどは共用でも個室があるアパートならどこでもいいや～」と軽く考えていたのですが、自分としては必要最低限だと思って設けた条件ですら全て満たすアパートがなかなかありませんでした。最終的なアパート入居までにここまで時間がかかってしまった主な理由としては、単に運が悪かったことに加えて…(1)滞在期間が半年であること。(2)キッチンとバスルームがシェアのアパートは間取りが変な場合が多いこと。(3)住居探しを手伝ってくれる団体の効率が悪いことが挙げられます。

アパートのオーナーさんは少しでも長く滞在してくれる人を好むため、留学期間が一年の人はアパートの選択肢も多く割とスムーズに決まるのですが、半年となると選択肢がギョッと狭まります。普通のアパート（キッチンやバスルーム、個室が全て自分専用）となると家賃がとても高くなるので、私はキッチンとバスルームが共用のアパートを探していました。ですが、共用のトイレを使用するには他の人の個室を通らなければいけなかったり、個室が二つあっても奥の部屋の人が出入りするには手前の個室を通らないといけない間取りだったり…プライバシーが守られないような間取りが多く、とても驚きました。

～住居探しを手伝ってくれる団体について～

ナポリには留学生の住居探しを手伝ってくれる団体があり、今までの先輩方と同様に私もこの団体にお世話になったのですが、住居探しの効率が非常に悪いと感じました。当初は自分が選択できる全てのアパートの情報を最初に一気に事務所で教えてくれるものだと思っていたのですが、小出しにしてきたためアパート見学に行っては事務所に戻り感想を述べるという感じでした。運が良ければその日中に次のアパートの見学ができるのですが、基本的には一日に多くて二軒まででした。また、国が違えば時間の感覚も異なります。特にイタリアは、すごいです…笑 住居探しの移動手段が基本的に徒歩だったことに加え、予定していた見学時間が2時間以上遅れるなんてことは毎日のようにあったので、住居探し数日目に心身ともに疲れ果ててしまいました。

～アドバイス～

＊住居探し自体について＊

私は先輩方と同様にイタリアに渡航してからこの団体を通してアパート探しを行なったのですが、他にも方法はあるみたいです！

私と同じ時期にナポリ東洋大学に留学している日本人学生は他に数人いるのですが、なかには渡航する前に予めインターネットでアパートについて情報収集し、チューターにWhatsApp（日本でいう LINE）を通して助けをもらいながら事前に契約していたため渡航日当日にアパートに入居できていた人もいました。しかし、渡航前に契約する分、直接自分の目でアパートを見られないためイメージと違うかもしれないリスクや取り押さえるためのお金を払う必要があるなどのデメリットもあるため、注意が必要です。

特に前者（イメージと違う）に関しては、本当に気を付けていただきたいです。上記のアパート決定までのスケジュールにもさらっと書いたのですが、実は私が最終的に契約したアパートも中身がイメージと違った…というレベルではなく、そもそもアパート自体が違いました…笑 2回目のアパート契約時には、アパートが工事中のため直接見学出来ない状態であったものの契約をせざるを得ない状況だったため、写真を信じて契約しました。しかし、イタリア人のチューターと一緒に住居探しをしていたものの、どこかの段階で団体

と私たちの間に誤解が生じていたみたいで私が想像していたアパートとは別のアパートに契約してしまっていました。ですが、それに気づいた頃には渡航して既に一か月が経っていたため、一からアパート探しをする気力も残っておらず、結局そのまま入居しました。

渡航してからアパート探しをするにしても渡航する前にネットで予め取り押さえておくにしても…どちらにしても間取りや家賃、立地（危険な地区じゃないか）など些細なことでも気になることがあれば遠慮せずに確認することが大事だと感じました。

トラブルに見舞われた時、あまり深く考えすぎずに楽観的に捉えられるのはいいことだと思いますが、このようにお金や住まいに関わる情報については「大丈夫だろう」とあまり楽観的にならないほうがいいと痛感しました。日本では起こり得ないようなことであっても、イタリアでは何が起こるか分かりません。

#### \*住居探しは必ずイタリア人と！\*

福井大学からナポリ東洋大学に交換留学する場合、日本人学生一人に対して自動的に日本語学科のイタリア人学生のチューターが一人つくはずなので、住居探しも一緒にしてくれると思います。私がお世話になった住居探しを手伝ってくれる団体は主に留学生を対象としているため一応英語は通じるものの、やはりイタリア語が話せる人と一緒に住居探しをするのが確実です。イタリア語が話せる人が一緒にいない場合、それをいいことに団体側にとって都合の悪いことがあれば向こうの思うつぼになってしまいます。

#### \*気になること・おかしいと思ったことは放置しない\*

私の場合、最初に契約していたアパートの契約が入居予定日に突然破棄になったのですが、団体からは「前の住人が深刻な問題を起こした」と伝えられただけで詳しい理由が伝えられたり謝られたりすることは一切なく、新しくアパート探せばいいよ～というような態度をとられたので、これはさすがにおかしいと思い、自分の思いを全て伝えました。また、二回目に契約したアパート（個室あり）が実は別のアパート（個室なし）だったことに関しても、明らか団体側のミスであるにも関わらず向こうが非を認めることは一度もないまま終わってしまったものの、自分の考えをはっきりと伝えたことで必要最低限の対処（部屋内に仕切りを置く）はしてもらうことが出来ました。

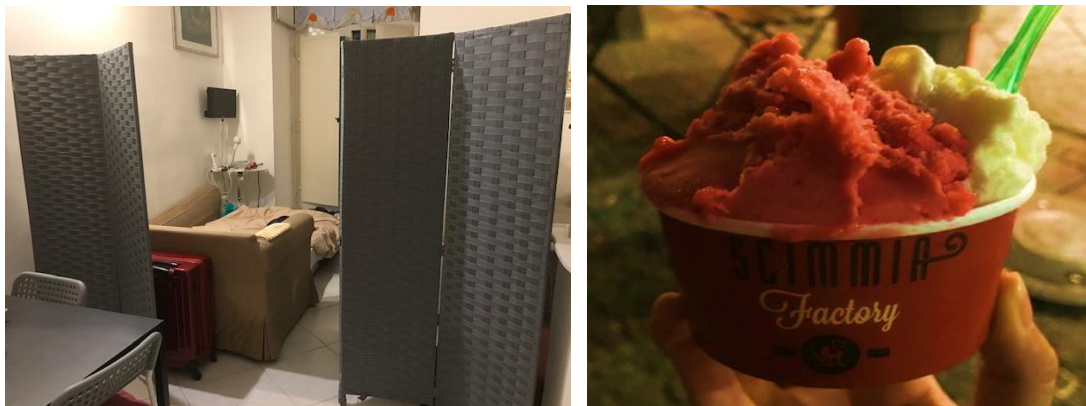
おかしい問題が起きた際、こちらが正論を言っても（言語とは別の意味で）通じない場合が多く、なんでこんなに理不尽なのだろうと思うことが何度もありました。正直 100%満足出来る解決策がとられることはほぼないです。しかし、可能性は低くても出来る限りの解決策があるなら向こうが No と言ってきても粘り強く交渉する力・問題解決力はこれらの経験のおかげで身に付いたと感じています。

#### \*イタリアでも他の国であったとしても…\*

皆さんが留学すれば良い意味でも悪い意味でも日本では考えられないような経験をたくさんすると思います。なかには理不尽でもどかしく思うようなこともあると思いますが、決して負けないでください。強く生きてください！…笑 そして一人で抱え込まずに近くにいるイタリア人のチューターや日本にいる友達、家族にぜひ相談してください。

長くなりましたが（まだ授業についての紹介が終わっていませんが…）、アパート探しにしても他のことに関しても、どうしても妥協しないといけない部分が出てきます。自分が幸せ・心地よいと感じる基準を下げることで…言い換えれば小さな喜びを沢山見つけられるようになることでつらい状況に陥ってもなんとかやっていけます！

そして留学先の食べ物が美味しいかどうか（口に合うかどうか）は結構大きなポイントです！私が滞在しているナポリは特にピザとジェラートが本当に美味しいので、つらい時も精神的に助けられました。やっぱり食べ物の力は偉大だと思います！笑



（今いるアパートはこんな感じです！色んなお店のジェラートを食べ比べるのも楽しいです。個人的にオススメなのは、Basilica di San Domenico Maggiore の近くにあるジェラート屋のストロベリー味とミルク味です！）

**【授業について】**

アパート探しについての紹介が思っていた以上に長くなってしまいましたが…次に授業について紹介したいと思います。

	月	火	水	木	金
1 限目 (8 : 30~10 : 30)			ドイツ語		ドイツ語
2 限目 (10 : 30~12 : 30)					
3 限目 (12 : 30~14 : 30)			日本語 4		日本語 5
4 限目 (14 : 30~16 : 30)	イタリア語		イタリア語		イタリア語

授業は、イタリア語とドイツ語を受講し、レベルの違う日本語のクラスに週二回見学に行っています。留学生向けのイタリア語講座はレベルごとに分かれており、本来なら授業が始

まる前にテストを受けてからクラス分けされるのですが、私はイタリア語初心者なのでテストを受けず自動的に一番初級のA1クラスになりました。授業はイタリア語で行われるのですが、最初は先生の言っていることが全く分からず授業についていくのが本当に大変でした。スライドも基本的に使わないため、耳で聞き取るのが難しいです。イタリア語の授業が始まってそろそろ一か月が経ちますが、未だに先生の言っていることが理解しきれないものの、単語が分かるようになっただけで理解度は結構変わってきました。また、空き時間にはイタリア人の友人と日本語とイタリア語を教え合う時間を作り、授業で理解しきれなかったことや授業では習わないようなフレーズを教えてもらっています。

また、ドイツ語の授業については現地の学生向けであるためこれもイタリア語で開講されているものの、一度習った範囲なのでなんとか授業についていけています。日本では授業の内容に関する質問があったとしても、授業後に学生が個人的に先生に聞きに行くか授業中に先生が質問タイムを作ってその時間に尋ねることが多いですが、イタリアでは分からなかったり気になったりすることがあればその都度学生が積極的に手を挙げて質問をしているのでその姿に圧倒されます。その積極性にも驚きますが、質問できるということはその分しっかりと授業を聞いているということなので、私が主に関わっている日本語学科のイタリア人だけでなく、ナポリ東洋大学の学生は皆勉強熱心なのだろうなと感じています。

そして私が週に2回見学している日本語のクラスについてですが、イタリア人の学生がどのように日本語を学んでいるのかを見ることができてとても面白いです。文法だけではなく学生の興味を掻き立てるような余談コーナーも授業の一部にあるのですが、この間は「日本人のステレオタイプ」について学んでいました。なかでも面白かったのは「おじぎ」についてです。日本人は目の前にいる相手だけでなく電話しているときでもおじぎをしますが、いつでもどこでもおじぎをするイメージがすぎた結果、「日本人はテレビに対してもおじぎをする」と思っている人も少なくないようで思わず笑ってしまいました。このように言語を学ぶことを通してその国の文化を学ぶというのは私たちと共通しているなど感じたとともに、私たち日本の言語や文化について興味を持ってくれて熱心に学んでいる姿を見ることが出来て嬉しく思います。イタリア語はとても難しいですが、私も少しずつ頑張りたいと思います。

長くなってしまいましたが、今回はアパート探しと授業について紹介しました。まだ決まっていますが、来月はまた別のトピックについて紹介できたらと思います！